

令和2年度

第2回 石狩市社会教育委員の会議
(書面会議)

令和3年3月10日(水)～3月16日(火)

—会議次第—

1 議題

- (1) 令和2年度社会教育事業実施報告について(資料1)
- (2) 令和3年度主要な社会教育事業の概要(案)について(資料2)
- (3) 石狩市のコロナ禍のもとでのサークル・団体活動緊急調査の報告(資料3-1・3-2)

石狩市教育委員会

令和2年度 社会教育事業実施報告（主催事業、各種会議、研修等）

報告

[社会教育課、公民館、文化財課、厚田・浜益生涯学習課、市民図書館、スポーツ健康課、子ども政策課]

課	区分	事業名	期日	曜日	時間	会場	対象	参加人員	事業内容
※コロナ禍において新規に行った事業									
社会教育課	文化振興	「AFRICAN DAY IN 石狩」	12月13日	日	14:00 ～ 15:30	アートウォーム		参加者 41名	・独特なリズムと迫力あるアフリカンドラムの演奏 ・セッションやアフリカ文化を紹介 ・アフリカのアクセサリーの販売 協力：NP0法人 石狩国際交流協会 北海道アフリカ会
		【公民館講座】たのしいことみ〜つけたっ!! はじめてでもできちゃう!? カッコいい“プラモ”づくり	2月14・21・28日・3月7日	日	13:00 ～ 16:00	公民館		参加者 8名	全道各地で活躍中のプロモデラー（石狩市在住）を呼び、おうち時間を有意義にするきっかけの機会としてプラモデル講座を開催。 完成した作品は石狩市民図書館での展示を予定
		アーカイブ配信事業	11月11日～ 随時公開					橋年度記録映像40本 完成済み作品19本 全59本	本市における過年度における記録映像素材、及び本市が保管する既存の完成済み映像作品に、企画構成、デジタル化、及び編集作業を行い、視聴した石狩市民が、本市が持つ魅力や価値、歴史の移り変わりなどを効果的に把握して、郷土愛を高めることに資するユーチューブ用動画を作成する。
※その他事業									
社会教育課		令和2年度 石狩管内社会教育委員連絡協議会総会	4月			書面開催	社会教育委員長等	—	【報告】・令和元年度事業報告・収支決算報告・監査報告 【議案】・令和2年度活動方針(案)・事業計画(案)・収支予算(案)・役員改選(案)
		令和2年度 石狩管内市町村社会教育関係職員等研修会	コロナウイルス感染拡大防止のため中止						
		第40回北海道市町村社会教育委員長等研修会						—	コロナウイルス感染拡大防止のため中止
		第60回北海道社会教育研究大会（渡島大会）			—			—	コロナウイルス感染拡大防止のため中止（次年度も渡島地区で開催予定）
		令和2年度 社会教育主事講習	6月24日～ 9月20日	期間中 19日間	—	札幌市外6会場 (オンライン開催)	社会教育関係職員等	82名 (石狩市1名)	生涯学習概論・社会教育経営論・生涯学習支援論・社会教育演習
		令和2年度 石狩管内共同事業「フォーラム石狩」	コロナウイルス感染拡大防止のため中止						
		地域生涯学習活動実践交流セミナー	2月18日	木	—	オンライン開催	社会教育関係職員等	—	研究テーマ「地域づくりの担い手育成に向けた行政と住民の連携・協働」～地域の未来を担う自己肯定感・自己有用感の高い若年層の育成～ 講義1「遠隔システムによる「つながり」づくり」 講義2「コロナ禍における社会教育の役割」 北海道医療大学教授 冨家 直明氏 講義3「自己肯定感・自己有用感の理解」 講義4「自己肯定感を高める社会教育事業のあり方」 國學院大学准教授 青木 康太郎氏
成人教育	成人式	コロナウイルス感染拡大防止のため5月に延期予定							

学校支援	学校支援地域本部事業 (花川北地区)	4月～3月	-	-	花川中、花川北中、 花川小、紅南小、 双葉小、緑苑台小	各学校の児童生徒、 地域住民等	学校支援ボランティア(算数・家庭科・体育などの学習支援、校庭除草作業などの環境整備等)	
	学校支援地域本部事業 (花川南地区)	4月～3月	-	-	花川南中、樟川中、 南緑小、花川南小、 生援小	各学校の児童生徒、 地域住民等	学校支援ボランティア(算数・体育・生活科などの学習支援等)	
	学校支援地域本部事業 (あい風寺子屋事業)	5月～12月 (14回)	水 金 土	14:40～ 15:40 9:30～ 11:30	花川南小・紅南小	花川南小・紅南小の児童、地 域住民等	・放課後の様々な体験活動の機会提供、けん玉・バルーンアート、カルタ、マジック、バットバットゴルフ、図書ボランティアによる絵本読み聞かせの他	
	学校支援地域本部事業 (放課後すこやかスポーツ教室)	6月～3月	-	放課後	紅南小、花川南小、 双葉小、緑苑台小、 南緑小	登録人数114人	コーディネーション運動、球技	
	学校支援地域本部事業 (運営委員会会議)	6月29日	月	16:00～ 17:30	公民館	委員5人 オブザーバー5人	令和2年度石狩市学校支援地域本部事業の実施について	
社会教育課	石狩市民文化祭 (実行委員会主管)	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止						
	情操教育スタートプログラム 「おしゃべランド」	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止						
	情操教育セカンドプログラム 「The Music」	3月10日	水	10:30 ～ 11:40	浜益中学校 (予定)	浜益中学校 1・2・3年生	・ジャズ音楽(スタンダード・ナンバー、オリジナル曲)の鑑賞 ・生徒参加による体験セッション など 【演奏者】奥野 義典(サクソ、フルート)、館山 健二(ドラム)、 北垣 響(コントラバス)、中島 弘憲(ピアノ)	
	情操教育プログラム 「能楽教室」	11月5日	木	13:55 ～ 14:10	石狩中学校	石狩中学校 1・2・3年生 93人	・仕舞、講義(能の歴史)、映像鑑賞(能と能楽堂について)、謡の体験(高砂)、 装束体験(1名) 【講師】・能楽師 柴田 隆 氏、アシスタント2名	
	あい風コンサート	10月14日	水	10:35 ～ 11:20	浜益小学校	小学生1～6年生 35人	・オペラアリア・童謡・ポップス・アニメソングほか歌唱とトーク。児童・生徒参加 協働型、リトミック。【出演者】今野博之・くる美	
		12月11日	金	9:25 ～ 10:25	石狩八幡小学校	小学生1～6年生 106人	・オペラアリア・童謡・ポップス・アニメソングほか歌唱とトーク。児童・生徒参加 協働型、リトミック。【出演者】今野博之・くる美	
		3月4日	木	13:00 ～ 14:00	生援小学校 (予定)	小学生1～6年生 90人	ヴァイオリン&オーボエデュオによるクラシック、ポップス、ディズニーやジブリな どのアニメ音楽、映画音楽、童謡、世界の民謡などを演奏。 【出演者】「more」長谷川夕子・岡本千里	
	俳句のまち・いしかり (表彰式)	コロナのため、市民文化祭を中止したため表彰式も併 せて中止となった。				市内 児童生徒	応募 2,334人	①第15回こども俳句コンテスト 兼題(テーマ)を自由題として、市内小・中学校に募集を依頼、優秀賞20作品を表彰
						全国	応募 114人	②第15回俳句コンテスト(表彰式・句碑除幕式) 兼題を「夕焼け」及び自由題と して俳句を全国から募集、天位(最優秀)1作品の句碑を弁天歴史通りに建立
	石狩市芸術文化振興奨励補助金	補助金交付対象事業 ①特定非営利活動法人 アートウォーム 喜多直毅・黒田京子スペシャル・コラボ・ライブ(10月4日開催) 一心を揺さぶるヴァイオリンとピアノによる日本再生祈念コンサート ②石狩市郷土研究会 「石狩市内小・中・高等学校 校歌集」発刊事業						
ロビー展 ロビーコンサート	通年	-	-	市役所ロビー・図 書館ロビー	一般市民	・ロビー展2回(水画、油絵など) ・ロビーコンサート1回(ピアノコンサート)		

公民館	成人教育	いしかり市民カレッジ (主催講座)	10月20日	火	10:30~ 12:00	花川北コミセン	一般市民	44人	講座1/アイヌ語地名と北海道		
			中止								講座2/石狩浜の漂着物から地球が見える
			10月15日	木	10:30~ 12:00	花川北コミセン		41人	講座3/縄文遺跡群の世界遺産登録と石狩市の遺跡		
			9月26日	土	10:30~ 12:00	花川北コミセン		32人	講座4/姿勢と歩き方と健康との関連について		
			11月19日、11 月26日、12月	木	10:30~ 12:00	花川北コミセン		延べ 111人	講座5/人生100歳時代~100年人生を有意義に生きるために~		
			中止							講座6/石狩歴史散歩~花畔地区、北生振・高岡地区~	
			中止							講座7/三船殉難事件~忘れてはならない終戦後の悲劇~	
			中止							講座8/発展する石狩湾新港の役割II	
			中止							講座9/大人の社会見学II~篠津泥炭地開発を学ぶ~(受講者提案講座)	
			9月29日	火	10:30~ 12:00	花川北コミセン		35人	講座10/日本遺産と炭・鉄・港めぐり~旧住友赤平炭鉱を訪ねて~(受講者提案講座)		
			中止							講座11/「国立アイヌ民族博物館《ウポポイ》と苫小牧市美術館を訪ねて」~先住民族アイヌの歴史と文化を肌で感じる小旅行~	
			10月8日、10 月29日、11月 12月3日	木	10:30~ 12:00	花川北コミセン		延べ 93人	講座12/北海道農業と私たちの暮らし		
				木	10:30~ 12:00	花川北コミセン		43人	講座13/「ニュースの裏側」を知ろう!		
			1月19日、1月 26日	火	10:30~ 12:00	花川北コミセン		延べ 79人	講座14/「考えよう石狩市のエネルギー」~再生エネルギーと風力発電~(受講者提案講座)		
			公民館	成人教育	いしかり市民カレッジ (まちの先生企画講座)	中止			一般市民		講座1/おうちで簡単!ジェルネイル
中止							講座2/イチゴを摘んで手作りジャム作り				
中止							講座3/初心者向け健康吹矢				
1月15日、22 日、29日	金	10:30~ 12:00			花川北コミセン	延べ 70人	講座4/プロが教える人生の糧~「知って始める」終活連続講座~				
通年(月1回)	水	9:30~ 12:00			公民館	いしかり市民 カレッジ運営 委員及び事務 局	各回10人	総務・広報グループ会議			
通年(月1回)	金	9:30~ 12:00			公民館	各回10人	企画・事業グループ会議				
通年(月1回)	金	9:30~ 12:00			公民館	各回10人	幹事会				
高齢者教育	シニアプラザ はまなす学園	8月17日			月	10:00~ 15:00 を基本	北コミセン ほか	60歳以上の 市民		前期53人 後期52人 延べ 763人	第1回 顔合わせ会
		9月7日			月						第2回 講座「映画に親しむ」
		9月18日			月						第3回 講座「カローリング」
		10月5日			月						第4回 講座「落語に親しむ」
		10月19日			月						第5回 講座「介護施設について」
		11月16日			月						第6回 講座「太極拳」
		11月30日			月						第7回 文化祭練習
		12月7日			月						第8回 学園文化祭
		1月18日	月	第9回 講座「音楽に親しむ」							
		2月15日	月	第10回 修了式、総会							
第32回公民館まつり		新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止									

文化財課	講座	石狩ビーチコーマーズ／春の海辺の漂着物							中止	
		勾玉作り							中止	
		海辺の標本箱をつくる							中止	
		ウミベオロジー／石狩海辺学2019—海辺・ウミヘビ・龍神様—							中止	
		サケ切身骨格標本をつくる							中止	
		石狩ビーチコーマーズ／秋の海辺の漂着物	10月25日	日	09:00～13:00	石狩浜、砂丘の風資料館	小4以上	15	海辺の漂着物を観察・採集し、その起源や原因を考えます。	
		フライドチキン骨格標本をつくる							中止	
		石狩大学博物館部（2回、5科目）	1月23日、1月30日	土	13:00～15:30	りんくる	一般	27、23	石狩の自然や歴史について、最新の研究成果を紹介します。	
文化財課	展示（テーマ展）	ガラス乾板に残された百年前の石狩・花畔	5月28日～7月12日		砂丘の風資料館	一般		百年前の石狩の様子記録されたガラス乾板と、その写真を展示します。		
		石狩湾とウミガメ	7月18日～8月30日		砂丘の風資料館	一般		ウミガメ。ハワイや小笠原諸島のような南国の海をイメージするんじゃないでしょうか。でも実は、石狩湾にもやってくるんです。北国のウミガメの世界を紹介します！		
		石狩浜の百年記念塔	9月4日～10月5日		砂丘の風資料館 海浜植物保護センター	一般		石狩浜に百年記念塔を！彫刻家本郷新が最後まで取り組んだ石狩浜の百年記念塔「石狩」の製作模型、まぼろしとなった建築家黒川紀章との共同制作「北海道百年記念塔」の資料も合わせて展示します。		
		資料館のお宝2021特別編 北生振の泥炭地と泥炭ストープ	1月4日～3月31日		砂丘の風資料館	一般		泥炭ストープや泥炭採掘に用いたスベードを中心に石狩の冬に関係する資料を展示いたします		
文化財課	イベント	科学の祭典in石狩	11月30日～3月31日		オンライン開催（動画公開）	親子	-	動画出展「800万年前にタイムトラベル！望来の地層と化石」（主催：科学の祭典実行委員会）		
		『CISEサイエンスフェスティバルinチ・カ・ホ』 知らないことはいいことだ！～体験・挑戦・大発見～						中止		

厚田生涯学習課	社会教育・文化振興等	厚田の文化祭 (石狩市民文化祭厚田会場)	コロナウイルス感染拡大防止のため中止				
	スポーツ振興	厚田区スポーツと食の体験					
		厚田区 カローリング大会					
		厚田区 ミニバレー大会					
	厚田区ウィンター レクフェスタ(予定)						
浜益生涯学習課	放課後子ども教室	7月1日	水	14:30~ 16:50	浜益小学校	18人	「目覚める体！寺島先生の運動教室」
		8月19日	水			10人	「目指せ1番！走り方教室」
		9月9日	水			13人	「沖揚げ音頭産学①」
		9月10日	水			13人	「沖揚げ音頭産学②」
		9月23日	水			13人	「プラモデル教室！ミニ四駆を走らせよう」
		9月30日	水			12人	「ハママシケ陣屋探検ツアー！」
		11月11日	水			15人	「坂本先生のバドミントン教室」
		12月2日	水			11人	「悠々サロンのマスクケースづくり」
		12月9日	水			9人	「ミニバレー教室①」
		2月3日	木			荒天により中止	「ミニバレー教室②」
		2月10日	水			9人	「ミニバレー教室③」
		2月17日	水			荒天により中止	「卓球(ピンポン)をしよう！」
	浜清掃	8月24日	月	—	川下海水浴場	区内の小・中学校・他54人	小中学生39名 教員その他の団体15名
スキーバス運行	1月~2月の土・日曜日	—	9:15~ 16:30	番寒別岳スキー場	2~11人乗車	浜益コミセン→番寒別岳スキー場へのスキーバス運行。 昨年同様全6回を実施	
「ハママシケ陣屋」展	4月1日~(終了未定)	—	10:00~ 17:00	浜益コミセン きらり	一般	—	ハママシケ陣屋を示す資料や文献を常設展示

市民図書館	本館	通年	-	火・金 水・木	: 10:00~18:00 : 10:00~20:00	-	-	図書館資料の貸出や調べもの相談、読書普及事業等により、読書推進や市民の生涯学習を支援している。			
		分館	通年	-	10:00 ~17:00	花川南・八幡・浜益 (各コミセン内)	-		-		
	図書館協議会	8月19日	水	15:00~	視聴覚ホール	協議会委員：10人	協議事項 ①令和2年度からの新たな計画について ②令和元年度事業報告について ③令和2年度運営の重点について ④令和2年度事業進捗状況と今後の事業等について ⑤事業者等からの寄付・寄贈について ⑥新型コロナウイルス感染症対応について				
		3月26日	金	15:00~	視聴覚ホール	協議会委員：(未定)人	報告事項 協議事項 未定				
	I 子どもの学びを支援する	ブックスタート	通年	原則 第1火	石狩地区 12:30~ 15:00	石狩地区:りんくる 厚田区:保健総合セ ンター 浜益区:浜益コミセ	302人 ※1月末現在	10ヶ月を迎える赤ちゃんと保護者に対し、ブックスタートパックを渡ししながら、絵本を媒介としたふれあいの大切さを伝えた。			
		おはなし会	第1・3	土	11:00~	本館	主に幼児 ※1月末現在	204人	おはなしボランティアびっくりばこ		
			第2	土				39人	読み聞かせ子っ子の会		
			第2	日				42人	おはなしのんな		
			第3・4	日				41人	図書館職員		
			第5	土				15人	石狩市文庫連絡会		
		図書館利用ガイダンス	通年	-	-	本館	小中学生	6回	総合学習等で来館した児童・生徒に利用ガイダンス(指導)を実施		
		第9回石狩市図書館を使った調べる 学習コンクール	8月11日	火	10:00 ~11:30			7人	夏休み特別講座		
			8月12日	水	10:00 ~11:30			6人	夏休み特別講座		
			9月	-	-			318点	作品募集		
	10月13日		火	16:00 ~18:00			5人	作品の審査会			
							表彰式は中止(【最優秀】4点、【優秀】7点、【佳作】13点 【奨励賞】12点)				
10月24日~ 11月8日	土~日		-			-	第79回コンクール入賞作品レプリカ展				
11月	-		-			7点	全国コンクールへの推薦(主催:図書館振興財団)				
12月	-	-			-	全国コンクール表彰(7点中、7点が佳作)					

市民図書館	I 子どもの学びを支援する	家読（うちどく）	7月23日～8月31日	-	-	本館・分館 あいかぜとしょかん	小学生	14人	夏休み期間中に一定数の本を読むと、ファイターズロゴ付き文具がもらえる「本を読んでファイターズを応援しようキャンペーン」への参加。	
			10月26日	-	-	-	新1年生と保護者	452人	第2のブックスタートとして、「うちどくブックリスト」を就学時健診票送付時に同封し、家庭での読書を推進	
		ネットワークを活用した読書支援	通年	-	-	花川小学校	小学生・教諭	-	オンラインネットワークを活用して市民図書館資料の貸出・返却・予約を開始	
		学校図書館の体制整備	通年	-	-	-	-	-	-	【学校司書配置済校】双葉小、南線小、緑苑台小、花川南小、花川小、紅南小、厚田学園
										【本館又は分館司書の派遣】石狩八幡小、生振小、浜益小 浜益中
										【学校司書兼持ち配置】石狩中、花川中、花川南中、花川北中、樽川中
		学校図書館の地域開放	通年	①火～金 ②土日祝	①10:30～17:00 ②13:00～17:00	あいかぜとしょかん (厚田学園内)	-	-	厚田学園（H24.12～R2.3は厚田小）厚田小学校を「あいかぜとしょかん」として地域開放事業を実施	
		学校司書の研修	2月9日	火	10:00～16:30	双葉小学校 学校図書館	-	1人	小学校図書館の1日の業務内容を研修	
		子どもの読書活動の推進に関わる研修機会	10月30日	金	10:00～11:30	本館	ボランティア・関係団体・市民図書館職員	36人	「著作権研修」～著作権のい・ろ・はを学ぶ～	
		職業体験受入	11月5日	木	-	本館	高校生	1人	返却作業・ポップづくり・選書など	
	II 発信を通じて生涯学習を支援する	情報提供機能の強化	通年	-	-	-	-	-	① 地域・郷土に関する研修を実施 ② オンラインデータベース「日経テレコン21」の活用 ③ 相互貸借（他図書館との資料の貸し借り） ④ 国会図書館デジタルコレクション閲覧サービス	
		友好図書館交流	随時	-	-	-	-	-	新型コロナウイルス感染症の影響により中止	
		特集展示	通年	-	-	本館・分館	-	-	本の特集展示：地域情報や社会的問題等を図書館資料を活用して発信。	
	III 市民の誰もが利用できる環境を整備	返却箇所（ポイント）の設置	H24.4設置	-	-	南線小	-	-	返却点数 970点	
			H25.1設置			緑苑台小			1,493点	
			H25.1設置			浜益小			85点	
			H27.4設置			砂丘の風資料館			69点	
			R.11設置			紅南小			252点	
		ビッグハウス花川店	807点							
	団体・出張貸出	通年	-	-	本館	-	-	団体貸出）ボランティア、地域団体、グループホーム等		
分館でのサービス活性化	通年	-	-	分館	-	-	南：高齢者サービスの充実・児童サービスの充実 八幡：高齢者サービスの充実・乳幼児向けサービスの充実 浜益：高齢者サービスの充実・浜益小学校への出張貸出（きらりの日） 全館：古くなった資料の入替			

市民図書館	IV サービスを支える基盤を整備する	運営状況の公表	通年	-	-	分館	-	-	①図書館要覧2019の作成及び図書館ホームページでの公開 ②図書館ホームページ及び館内でのトピック記事の公表	
		ボランティア活動の支援	通年	-	-	-	-	-	①おはなしボランティア「びっくりばこ」 ・おはなし会の開催（月2回） ②図書修理ボランティア ・図書館資料の修理（週1回） ③ボランティアサークル布の絵本にじ ・布の絵本、おもちゃの製作と修理 ④ブックスタートボランティア ・ブックスタート会場での読み聞かせ、絵本等の配付準備 ※R2は未実施 ⑤フロアボランティア ・DVD上映会「名作を楽しむ会」 ・名作を楽しむ会のPRコーナー設置 ・イベントの運営補助 ※R2は未実施 ⑥おとなも絵本を楽しみ隊「おおきな木」 ・大人向け読み聞かせ	
		第1920回石狩市民図書館まつり								新型コロナウイルス感染症の影響により中止
		石狩の古老に話を聞く会								新型コロナウイルス感染症の影響により中止
		読書活動関係団体との連携（及び支援）	通年	-	-	-	-	-	-	①石狩市文庫連絡会 ②小樽山博文学を讀む会 ③村山家文書を讀む会 ④よみきかせ子っ子の会
	IV サービスを支える基盤を整備する	おはなし会（おおきな木）	第4日曜	日	13:30 ~14:30	本館	一般	53人 (1月末現在)		大人向け読み聞かせ
		図書館開館20周年記念	6月2日~	火~	-	本館	一般	-		・職員（正職員、非常勤職員合計年度任用職員（分館・あいかぜ・学校を含む））のおすすめ本を展示
			通年	-	-	-	-	主に子ども	-	「お家で楽しむ図書館動画」の配信（youtube）
				-	-	-	-	-	-	特別クイズ「ブックを探せ」の配信（Facebook）
				-	-	-	-	-	-	ボランティアによる20周年記念装飾の実施
8月			-	-	-	本館	一般	20冊	図書修理ボランティアによる、自宅本の修理企画	
9月	-		-	-	-	市内小学生	-	図書館謎解きクイズの実施		
	-		-	-	本館			石狩鍋記念日展示、イベント		
10月25日	日	-	-	りんくる			20周年記念公開座談会「図書館の成人式」の開催			
3月	-	-	-	未定				サイエンスアイ15周年記念講演会（予定）		

市民図書館	IV サービスを支える基盤を整備する	各種団体との連携	偶数月	第2土	13:30 ~14:15	市民図書館 (本館)	小学生	-	サイエンスプラザ石狩(主催:サイエンスアイ)※R2は未開催
			奇数月	第2土	14:00 ~16:00	市民図書館 (本館)	一般	-	サイエンスおしゃべりカフェ(主催:サイエンスアイ)※R2はweb開催
			毎月	第1日	14:00~	市民図書館 (本館)	一般	-	えい・あい館映画上映会 (主催:NPO法人厚田・岩波映像資料センターえい・あい館)
			通年	-	-	市民図書館 (本館)	一般	-	古文書相談(村山家文書を読む会)
			通年	-	-	ぽぽらーと	-	-	市民活動情報センターで指定管理者が行う図書貸出サービスの支援 ・団体貸出の実施、資料の入替 ・市民図書館資料の貸出サービスポイント
			3月6日~(予定)	土~	-	花川北コミセン	一般	-	ブックマーチ(NPO法人ひとまちつなぎ石狩との協働事業)
			11月30日~3月31日(予定)	月~	-	web開催	一般	-	第810回科学の祭典in石狩(主催:科学の祭典in石狩実行委員会)
	職員研修	6月26日	金	10:00~ 12:10	本館	-	-	・リクエスト研修 ・選書研修 ・新任研修	
		2月26日	金	10:00~ 11:30	本館	-	-	「多様な個性を持つ利用者への対応」	
	V 蔵書・利用者情報の期待に応える	蔵書の整備	通年	-	-	本館・分館	-	-	図書、雑誌、新聞、視聴覚資料等の収集・整理・保存。
		図書の無償譲渡	8月30日~	日~	-	本館	一般	-	資料選定会議において、点検除籍を決定した図書5,800冊を無償譲渡
		雑誌リサイクル広場	11月1日	日~	10:00~	本館	一般	-	保存年限を過ぎた雑誌2,675冊を利用者に無償譲渡
		雑誌スポンサー制度	通年	-	-	本館	-	-	1年契約でスポンサーを募り、雑誌最新号に広告を掲載 ・8団体(企業)、5個人から計20誌
		インターネットによる調査研究環境	通年	-	-	本館	-	-	①電源の一般開放(閲覧室内パソコンブース) ②Wi-Fi環境 ③インターネット専用のタブレット端末貸出
		地域資料の収集	通年	-	-	本館・分館	-	-	地域行政資料の収集と整備
		ふるさと石狩記録事業	通年	-	-	-	-	-	市内各所の変化の出でくる箇所を撮影及び定点撮影
		図書特別整理(蔵書点検)	11月23日~30日	月~木	-	本館	-	-	図書館の資料があるべきところにあるか、紛失していないかの確認作業
		夏休み特別イベント	8月11日	火	13:00 ~16:00	本館	親子	-	つくってみよう!科学工作!!(缶バッヂ、紙飛行機)(指導:石狩翔陽高等学校科学部)

子ども政策課	青少年健全育成	地域プレーリーダー事業	4月～2月 (夏・冬・春 休みを除く)	毎週土	14:00～	彩林公園	主に 小学生	-	学生ボランティアサークル「THEセツルメント」による遊び支援活動	
		子ども参加プロジェクト事業	※新型コロナにより、中止							
		ジュニアリーダー養成講座【市子連 共催】	※新型コロナにより、中止							
	子ども健全育成事業 交付金	-	-	-	-	-	-	-	市内青少年健全育成協議会や石狩市子ども会育成連絡協議会が実施する子どもの健全育成活動に対し交付金を交付	
家庭教育	そだてっこ☆ (旧びよびよ広場)	2月2・9・ 16・22・26日 の全5回 で実施予定	火・ 月・金	10:00～ 12:00	りんくる	0歳～3歳の 子をもつ保護 者7人	6人	1回目:「子育ての話」 講師:えるむの森認定こども園園長 坪田清美さん 2回目:「リラクソヨガ」 講師:アクトスポーツプロジェクト 奈花さん 3回目:「子どもの事故防止と安全」 講師:一般財団法人石狩市防災まちづくり協会 岩城道夫さん		
	N Pプログラム⑤	※事業終了								
スポーツ健康課	各種委員会 会議・研修等	スポーツ推進委員の会議	6月10日	水	18:30～	りんくる	委員 23名	委員19人	【説明】・令和2年度スポーツ・健康づくり関係事業 ・令和2年度スポーツ・健康づくり関係予算 ・令和2年度スポーツ推進委員関連予算	
			2月10日	水	19:00～	りんくる		開催予定	【報告】・令和2年度実施事業について ・令和3年度事業実施方針について	
		全道スポーツ推進委員研究協議会	中止							
		管内スポーツ推進委員研修会	中止							
		管内女性スポーツ推進委員研修会	中止							
	学校開放連絡会議	4月				副主宰 管理人 使用団体	書面開催	前期連絡会議 A E D 講習、全体説明、学校別連絡会議、使用承認書等の交付等		
		10月					書面開催	後期連絡会議 A E D 講習、全体説明、学校別連絡会議、使用承認書等の交付等		
	スポーツ振興事業	カローリング教室	中止			厚田小学校	小学生以上の 市民		ルール説明、投球練習、試合形式(対戦) 講師:石狩市スポーツ推進委員協議会	
			中止			花川南コミセン				
			中止			花川北コミセン				
		2020石狩市民加-リン'大会in浜益	中止			浜益コミセン	小学生以上の 市民		スポーツ推進委員協議会と共催で主として浜益区民を対象に開催	
2020全道加-リン'交流大会inいしかり		中止			B&G海洋むけ	小学生以上の 道民		スポーツ推進委員協議会と共催で、10回目となるカローリングの全道大会を開催 第15回石狩市民大会を兼ねる		
わんぱくスポーツスクール2020in本町		中止			弁天会館 外	市内小学5・ 6年生		S U P 体験、カローリング、ダンス、ミニサッカー、ソフトボール、ミニバレー 料理体験等		
施設無料開放	中止			サン・ビレッジいしかり	市民		体育の日にスポーツ施設(サン・ビレッジいしかり)を無料開放			

スポーツ健康課	健康・体力づくり推進事業	ウォー9(ク)の日	4月9日	木	10:00~	花川南地区	市民	29人	「街の美化ピカウオーク」ゴミ拾いをしながら約5kmのウォーキング
			5月19日	火	10:00~	緑苑台地区		21人	「新緑ウオーク」紅葉山南公園を巡る約6kmのウォーキング
			6月19日	金	10:00~	花川北地区		32人	「おおぞらウオーク」紅南公園から発寒川沿を巡る約7kmのウォーキング
			7月9日	木	10:00~	百合が原公園		34人	「百合が原公園探検ウオーク」百合が原公園内を探索する約3kmのウォーキング
			8月19日	水	10:00~	花川南地区		29人	「灼熱ウオーク」花川南コミセンから発寒川沿を巡る約5kmのウォーキング
			9月9日	水	10:00~	ふれあいの社公園		24人	「緑川はつらつウオーク」りんくるからふれあいの社公園を巡る約6kmのウォーキング
			10月29日	木	10:00~	モエレ沼公園		25人	「モエレの紅葉ウオーク」モエレ沼公園内を探索する約5kmのウォーキング
			11月19日	木	10:00~	りんくる		11人	「ノルディックウォーキング講習会」室内講習後に緑苑台地区への約6kmのウォーキング
			12月9日	水	10:00~	花川南コミセン		9人	「ラダーウオーク講習会」はしご状のラダーを使ったウォークトレーニング
			1月19日	火	10:00~	南防風林		14人	「スノーシュー防風林探検ウオーク」スノーシューで南防風林を約2kmのウォーキング
			2月19日	金	10:00~	B&G海洋センター		30人(予定)	「スノーシュースポーツ広場ウオーク」スノーシューでスポーツ広場内を約2.5kmのウォーキング
			3月19日	金	10:00~	花川北地区		30人(予定)	「おおぞらウオーク」紅南公園から緑苑台イオンを經由し戻る約6.5kmのウォーキング
		石狩いきいきウォーキング	6月6日	土	8:45~	本町地区	市民	28人	はまなすの丘公園をめぐる約5kmのウォーキング、終了後は抽選会と温泉
			8月22日	土	8:45~	厚田区		35人	厚田キャンプ場から道の駅石狩「あいろーど厚田」までの片道約5kmのウォーキング
			9月26日	土	8:30~	浜益区		34人	すこやかロード「浜益温泉コース」約6キロのウォーキング。昼食・入浴・お買い物も
ながら体操講習会	3月18日・25日	木	10:00~	りんくる	市民	各回15人(予定)	忙しくて運動する時間が作れない方に対して、日常生活の中でできる簡単な体操を学び、運動不足の解消や肩や腰などの関節のトラブルを予防し、快適に動ける身体づくりを勧め、健康づくりの一助を担う		
町内会協働事業 (ウォーキング・その他健康づくり講座等)	4月17日	金	10:00~	北陽町内会広場	北陽町内会	8人	町内会と協働で実施し、貯筋運動やその他の要望に応じた運動講座へ職員及び外部講師を派遣		
はりきりウォーキングラリーPART5	実施期間 R2.4~R3.3	-	-	-	市民	75人	ウォーキング手帳に毎日の歩数を記録し、東京オリンピック競技会場を回る1,594Km(222万歩)に挑戦 ※参加人員はR2.4~R3.1末現在の参加登録数		
ラジオ体操講習会	通年 (1月末実績:主催1回、派遣2回)	-	-	会館、コミセン等	市民	R3.1現在 実績なし	正しい動きで効果的なラジオ体操についての講習会を実施 ・主催事業 NHKラジオ体操講師を招聘して資格取得講習会を実施 ・派遣事業 団体の要請によりスポーツ健康課職員を派遣しラジオ体操講習会を実施		

スポーツ健康課	健康・体力づくり推進事業	子どもの体力向上事業① 「運動会目前！ジュニア走り方教室」	8月26日	水	15:45～	厚田小学校	小学1～6年生	2人	運動会シーズンに併せ走り方教室を実施 ・スタートダッシュ、正しい走り方の姿勢、反射トレーニング等 ※浜益区、厚田区は対象を6年生まで拡大
			9月2日	水	14:30～	浜益小学校		8人	
			9月12日	土	10:00～ 13:00～	サン・ビレッジいしかり 花川南コミセン	小学1～3年生	24人 22人	
		子どもの体力向上事業② 「スポーツおにごっこ教室」	11月18日	水	14:30～	浜益小学校	小学1～6年生	中止	スポーツおにごっこを実施 ※浜益区、厚田区は対象を6年生まで拡大
			11月25日	水	15:45～	厚田小学校		1人	
			11月28日	土	10:00～ 13:00～	B&G海洋わたり 花川南コミセン	小学1～3年生	8人 12人	
		子どもの体力向上事業③ 「テニス教室」	1月6日	水	10:00～ 13:00～	サン・ビレッジいしかり 花川南コミセン	小学3～6年生	5人 7人	テニスの講義及び実技を実施
		スポーツ・食育講座	中止			B&G海洋わたり	小学4～6年生 保護者		楽しく身体を動かしながら運動能力を鍛えることができる五色綱引きと、健康を育むうえで欠くことのできない「食」の大切さについて、児童・指導者が一緒に学び共通認識を持つ機会として実施
		石狩市・輪島市友好都市青少年スポーツ交流事業	中止			北海道石狩市			平成24年の友好都市協定の締結を受け、両市の青少年等を対象にスポーツ交流を中心とした交流事業を実施、派遣・受入を隔年で行う ※平成31年度は輪島市へ訪問団16人を派遣
		全国・全道スポーツ大会参加補助事業	随時	-	-	-	市民	9人 (1月末)	市内に在住し、スポーツを職業としない方で、地区の予選大会、選手選考会を経た方、または選抜に選ばれた方、あるいは標準記録に達したことにより全国・全道等の大会に参加するための経費の一部を補助
ソフトボールアスリート育成事業① 投げ方・捕り方・打ち方講習会	10月18日	土	10:00～	花川小学校	市内小学生	30人	市民のスポーツであるソフトボール競技の普及・推進を図るため、石狩ソフトボール協会と連携を図り実施		
ソフトボールアスリート育成事業② ソフトボール選手強化講習会inいしかり	1月9日	土	9:30～	サン・ビレッジいしかり	市内小中学生・指導員	30人			
濃屋山道トレッキング	8月29日	土	9:00～	濃屋山道	市民	30人	厚田区の自然や歴史等の地域資源である「濃屋山道」が北海道遺産に選定されたことを記念し、トレッキングを開催することで地域意識の醸成を図ることを目的とする。		

令和3年度 主要な社会教育事業の概要 (案)

教育プランの基本目標Ⅰ 【自ら学ぶ意欲をもって、主体的に社会に関り、新しい時代を生きる力を育てる】

◆学びを支える家庭・地域との連携・協働の推進

(1) 学校支援地域本部事業 (継続) 2,502 千円

地域ボランティア、文化団体等の支援を受けながら、学校支援活動やあい風寺子屋教室など、学校・家庭・地域が一体となって、地域ぐるみで子どもを育てる体制を整備する。

小学校8校・中学校5校 (※新規 石狩中学校)

教育プランの基本目標Ⅱ 【思いやりと豊かな心・健やかな体をもって、多様な人々と共に支え合う人を育てる】

◆健やかな成長を促す取組の推進

(1) 情操教育プログラム (継続) 1,670 千円

子どもたちに様々な芸術文化に親しむ機会を設け、素直に感動できる心 (情操) を育む。

- ・おしゃべランド：小学1年生対象、音楽朗読劇の鑑賞、世界寺子屋運動の紹介
- ・The music：中学1年生対象、ジャズ音楽の鑑賞、演奏体験
- ・あい風コンサート：小規模小学校及び保護者・地域住民対象、様々な楽器・ジャンルの生演奏の鑑賞、演奏体験
- ・Kitara ファースト・コンサート：小学校6年生対象、札幌交響楽団の演奏によるクラシック音楽の鑑賞

(2) 学校図書館等充実事業 (拡充) 32,329 千円

学習や読書活動を推進するため、学校図書館の蔵書を充実、学校司書の配置等を継続し環境整備を図る。

- ・蔵書の増冊、更新促進：全小中学校
- ・学校司書の配置・派遣：全小中学校

<子ども政策課>

(3) (仮称) ふれあいの杜子ども館建設事業 (継続) 343,583 千円

石狩ふれあいの杜公園内に、子どもの居場所や放課後児童クラブ、子育て支援機能等を有する施設を建設するための実施設計を行う。

(4) 放課後すこやかスポーツ教室（継続～学校支援地域本部事業） 450 千円

放課後の市内小学校体育館等を利用し、児童に対して運動能力向上のためのプログラムや食育指導を実施する。

＜スポーツ健康課＞

(5) 健康・体力づくり推進事業（継続） 538 千円

市民が無理なく日常生活の中で運動を習慣化するため、誰でも・どこでも取り組むことができる事業を実施し、健康増進に寄与する。

- ・ウォーキングサポーターの活動を支援し、ウォーキングの普及啓発を推進
- ・ラジオ体操出前講座やNHK講師による講習会の実施
- ・スポーツと栄養に関する講座の実施

(6) いきいきフィットネス事業（新規） 1,100 千円

運動指導等による支援を行い、運動を習慣化することで、生活習慣病や要介護状態になることを予防するとともに、健康づくりの推進を図る。

(7) 運動能力向上事業（協働事業）（健康・体力づくり推進事業費）（継続） 1,200 千円

総合型地域スポーツクラブや大学と連携し、幼児から中学生までを対象にした体力・運動能力の向上を目的とするスポーツ教室や食育講座の開催に係る経費の一部を交付する。

(8) 2020年東京オリンピック・パラリンピック合宿誘致推進事業（継続） 1,800 千円

東京オリンピック・パラリンピックへの関心を高め、機運の醸成を図るとともに、多様性や共生社会への理解を促進する。

- ・ソフトボールパブリックビューイングの実施
- ・オリンピックトークショーの実施
- ・パラリンピック聖火（石狩の火）採火式の実施

(9) 厚田地区スポーツ振興事業（継続） 1,550 千円

厚田区の地域資源を活用したデュアスロンの大会を開催することで、地域意識の醸成や交流人口の拡大を図る。

(10) スポーツ施設改修事業（継続） 750 千円

市民プールを利用する利用者が、施設を安全に利用するためにコースロープ等の備品を更新する。

教育プランの基本目標Ⅲ 【ふるさとへの愛着をもち、幅広い視野で新しい価値を創造し、活躍する人を育てる】

◆学びを活かす地域社会の実現

(1) 生涯学習講座開催費（継続） 550 千円

市民の主体的な学習活動を支援し、多様な学習ニーズと社会の要請に応える学習機会を提供する。

- ・いしかり市民カレッジ

主催講座 (13 講座 27 コマ予定)

連携講座 (約 300 講座)

- ・シニアプラザ「はまなす学園」(60 歳以上対象) 講座等 (年 16 回開催予定)

(2) 社会教育関係団体運営補助金等 (継続) 6,04.3 千円

社会教育関係団体の主体的、継続的な活動を支援するため、運営費等の一部を補助する。

- ・PTA連合会補助金 328 千円
- ・ユネスコ協会補助金 80 千円
- ・文化協会拠出金 5,635 千円

(3) 芸術文化振興交付金等 (継続) 2,352 千円

芸術・文化の振興を図るため、市民が自主的、主体的に行う芸術文化活動費の一部を交付する。

- ・市民文化祭交付金 952 千円
- ・芸術文化振興奨励事業等補助金 600 千円
- ・地域創造アトリエ事業交付金 800 千円

(4) 新型コロナウイルス感染症対応地方創生推進事業 (新規) 10,000 千円

新型コロナウイルス感染症対策として、公共施設における感染拡大防止及び衛生環境の改善を図るためトイレ改修を行う。

- ・公共施設衛生環境改善事業
対象施設 学び交流センター

(5) 学び交流センター整備事業 (新規) 21,906 千円

老朽化が進む公民館の機能を学び交流センターに移転するため改修工事等を行う。

- ・改修工事実施設計等 1,933 千円
- ・改修工事費 27,773 千円
- ・備品購入費 2,200 千円

◆図書館サービスの充実

(1) 図書館資料等購入事業 (継続) 14,200 千円

市民の生涯学習活動を支援するため、図書、雑誌、新聞等を購入し、蔵書の充実を図る。

(2) 子どもの読書活動推進事業費 (継続) 558 千円

子ども及び保護者に向け、読書や学習習慣の定着を図るための普及活動を行う。

- ・ブックスタート事業：0 歳児及び保護者対象
- ・調べる学習コンクールの実施：小中学生対象

(3) 冷却塔修繕事業 (図書館改修等事業費) (新規) 12,500 千円

図書館内の空調設備の一部である冷却塔のオーバーホールを行うことにより、快適な読書環境と資料管理に適切な施設環境の維持及び施設内設備の長寿命化を図る。

(4) 新型コロナウイルス感染症対応地方創生推進事業 (新規) 587 千円

新型コロナウイルス感染症対策として、図書館施設内に手指消毒用アルコール等の衛生資材を整備する。

◆ふるさとを学ぶ機会の充実

(1) 資料館管理運営事業(継続) 8,712千円

いしかり砂丘の風資料館など市内の資料館の管理運営を行うとともに、石狩の自然、歴史、文化等についての調査研究、資料や標本の収集、講座等を開催する。

石狩市のコロナ禍のもとでのサークル・団体活動緊急調査の報告

石狩市社会教育委員 木村 純

1. コロナ禍のもとでのサークル・団体活動への影響調査について

①一昨年度の石狩市の社会教育委員の活動の1つは、「シニアの社会参加ガイドブックづくり」でした。社会教育委員と事務局が、市民の皆さんの協力を得て、進めてきたことをもとに、2019年度末には補足的な資料収集とヒアリングをして、素案を作りたいと考えていたのですが、新型コロナ感染症のもとで、社会教育委員も身動きがとれなくなり、作業は停止を余儀なくされました。

②そして、何よりも、「シニアの社会参加」をはじめ、社会教育活動そのものが「自粛」を迫られ、一部を除いて、再開もままならぬ状況に置かれており、「ガイドブック」の目的、方向についても変更が迫られました。活動を中止、延期せざるをえない学習活動や市民活動が相次ぎ、感染した際には重症化のリスクが高い高齢者はより厳しくステイホームを強いられています。私は、感染拡大の第一波で生じた札幌市や小樽市で生じた、「昼カラオケ」での感染の拡大は、居場所を失った高齢者の現状を示しているのではないかと考えるのです。

※「ステイホーム」という言葉を社会教育の立場から考えてみましょう。ステイホームという言葉は、医療従事者が協力を求めて発信したメッセージ“we stay here for you, please you stay home for us”(「私たちは、みなさんのために病院にいます。皆さんは、私たちのためにも、家にいてください」)に由来するものです。相手の利益が自分の利益に不可欠であるという社会のあり方を示す言葉です。「助ける/助られる」、「支援する/支援される」関係ではなく、困っている人がかわいそうだから助けるのでもなく、その人たちの幸せが私たちの幸せの実現に不可欠だから協力するというものです(これを相利性と言います)。ポストコロナの社会教育活動は、この相利性をテコに「新しいつながり」をいかに作っていくか、そういう「新しいつながり」が大切にされる社会はどうしたら作ることができるかを学ぶことが大切になると考えられます。

③そのため、新型コロナウイルス感染の終息を願い、それを見通しながら、今、コロナ禍のもとで、高齢者の社会参加がどういう現状を強いられているのか、また三密を避け、ソーシャル・ディスタンスを図るなど、再開したり、新たな積極的取組を始めた現場ではどのような工夫を行いながら、高齢者が「つながる」ための営みが行われているのかを、私たち自身が知り、高齢者をはじめ市民がともに学び、活動するための有益な情報を集め、それらを市民に知らせるために、編集のあり方を一部修正した「ガイドブック」作成を今年度の目標としたらよいのではないかと考えたのです。簡単なアンケート調査の結果に加えて、できれば面接の上で補足的な聞き取り調査も踏まえて、ガイドブックの代わりになるようなものにと当初は考えていたのですが、それもままならないような感染者拡大の第3

波がやってきました。ですから、この調査の「報告書」は分析結果を公表しながら、市民の皆さんのご意見などによってより充実させ、作りあげるようなものにしようとは考えています(なお、ここに述べたようなことも触れた石狩市の社会教育委員の活動について、昨年12月18日に岡山県教育委員会の要請を受けて、県下の30余箇所の会場に社会教育委員の方に集まっていただきリモート講演を行いました)。

④以下に述べることは、昨年12月11日までに行った、石狩市での「コロナ禍のもとでのサークル・団体活動への影響調査」(いしかり歌う会、石狩写真クラブ、草木染サークルふきのとう、石狩ケーナ同好会、石狩健康マージャンサークル「すずめの会」(以上60歳以上の会員が100%)、石狩混成合唱団、石狩市郷土研究会、いしかり手打ちそば同好会、石狩手づくり食品の会、日本棋院石狩支部、大正琴サークル星音(以上60歳以上の会員が80%以上)、石狩エンジェル・クレア少年少女合唱団、石狩大谷子供劇団「碧い海」、マザーリーフ・ゴスペル・クワイア、石狩朱華弁天(よさこいソーラン)、いしかり市民カレッジ、石狩ユネスコ協会(17サークル・団体に配布、回答100%、結局、公民館を定期的に利用するすべてのサークルから回答していただきました。お忙しい時期に調査に応じていただいた皆さんに心からの感謝を申し上げます)。公民館を定期的に利用するサークルの会員に高齢者が占める割合が高くなっていること(メンバー全員が60歳以上のサークル・団体が5つ、60歳以上の占める割合が90%を超えるサークル・団体が3、80%以上が4ありました)が、この調査対象からも知ることができます。

(なお、調査結果をより客観的に(石狩市のサークル活動だけの問題ではないことを)お知らせし、考えていただくために、私が代表をつとめる公益財団法人コープさっぽろ社会福祉基金が8~9月に実施した「コロナ禍のもとでの市民活動への影響調査報告」(道内85団体を対象に61団体からの回答)や札幌市生涯学習センター「ちえりあ」の「ご近所先生」を対象にした調査結果(35名の「ご近所先生」を対象にしたもの)を参考にしながらに考察したことをお断りしておきます。前者の調査については、「基金」から、報告書が公表されています。後者については今並行して報告を執筆中です)

2. コロナ禍のもとでのサークル活動が抱える問題

①コロナ禍のもとでは、以前から、学習活動を含む市民活動が抱えていた問題がより深刻化しました。メンバーと役員の高齢化がすすみ、新しい参加者が増えず、役員のなり手が確保できない、活動を継続するための経費が不足している(イベントやバザーが開催できず、物品の販売や寄付金を得る機会が減少した)、公民館などの施設が休館になって、会場の確保に苦勞する、相談してくれる窓口がないなどの悩みはさらに強くなりました。「コロナ禍のもとで参加者や会員が減ってしまう。運営資金に困った。会場の確保に困るということはありませんでしたか」という設問について、回答があったもののうち、参加者や会

員が減ったと回答したのは7、運営資金に困ったと回答したのが5、会場の確保に困ったと回答したサークルが4でした。

②イベントだけでなく日常的な活動が出来なくなり、とくに高齢者が中心の活動は、感染した場合、重症化する可能性が高いため。高齢者は「自粛」を余儀なくされ、外出できず、参加が少なくなり、打ち合わせや会議も中止になったりしました。『『新北海道スタイル』を徹底して開催していますが、準備時間がかかるようになりました。参加者の一部の方は、参加を控えています』(すずめの会：健康マージャンサークル)。日常的活動も出来ないから新しいメンバーも増えないし、ボランティアの参加を得られないのです。

サークルの会員が子どもだったり若い会員が中心だったりする場合でも指導者が高齢者だったり札幌市に住んでいたりして練習をはじめ活動が困難になるというサークルもあります。

③メンバーへの連絡や簡単な打ち合わせでは、オンラインの活用がすすむ一方、日常の事業に活用するというサークル・団体は少ないのです。対応が困難な高齢のメンバーも少なくなく、リーダーにオンライン化についての知識があってもメンバーの多くが対応できないということもあり、また、導入についての十分な支援も得られていないのです(「高齢の会員が多く、対応できない」郷土研究会)。高齢者がいつもはみんなでワイワイ、話し合いをしながら皆が納得したうえで行動してきましたが、それもなかなか出来なくなってしまいました。高齢者が出られない、集まれない、コミュニケーションがとれないことが、メンバー全体の不安になっています。メールや電話、郵送の文書だけで、対面しての相談・協議がなくなって「アソシエーションとビュロクラシーの相克」がより深刻化しないように、「連絡をこまめにとりあっている」(石狩大谷子供劇団「碧い海」)、「ラインにより連絡をみつに行う」(そばうち同好会)サークルがあります。また、石狩市郷土研究会のように「会報の発行回数を増やす」という努力をしているサークルがあります。

※ 石狩市郷土研究会は研究会通信『かしわ林』No.48(2020年12月3日)で、村山耀一会長が「会員の皆様へ 例会の中止など今後の予定について」で次のように述べています。創立60年の記念式典を10月25日に行い、60周年記念誌として『石狩市小中高等学校校歌集』が音源資料を添えて発行することができてたいへん喜ばしかったとし、それに続けて「今年(2020年)2月頃から蔓延している新型コロナウイルスの関係で3月の公民館まつりを皮切りに、例会、村山家文書を読む会などが中止に追い込まれ、さらに4月の総会まで中止にせざるをえなくなりました。その後の活動も中止が続き、ようやく8月の例会から活動を再開いたしましたが、コロナ禍がおさまらず、会員から感染者を出してはならないという考えから、11月の活動を中止しました。冬を迎えて北海道全体の感染がさらに拡大する中、三役で話し合い役員会の確認を経て、やむなく12月からの当面の活動と恒例の新年会を中止することにいたしました…」と残念な気持ちを述べられ、また新年(2021年)には予定どおりの活動ができることを願っておられます。『石狩市小中高等学校校歌集』は私も読ませていただきましたが、たいへん興味深く、貴重なものです。こうしたお仕事の成果を世

に出すことができたことを新年会などであらためて会員みんなで喜び合う機会が持てなかった無念さを思うとせつない気持ちになります。

④ここで「アソシエーションとビュロクラシーの相克」について説明をしておきましょう。サークル活動は、基本的には一人ひとりが自分がしたいことをするためにみんなが協力して活動するものですが、それは単なる個人的なものではなくその活動成果の発表などを通して地域社会に貢献することができる活動です。そば打ち同好会のように、自分たちの活動の使命(ミッション)として、地域への貢献を明確に掲げている活動もあるのです。その点では、ボランティア活動などと同様に、サークル活動は市民活動としての特徴を持っているのです。コロナ禍のもとで、会議や打ち合わせの回数が減り、一緒に集まってわいわいがやがや話し合っただけで納得し、一致して活動してきたのに、オンラインや文書による連絡が中心になることにより、今までのような納得づくで活動するということがおろそかにされがちになります。電話やメールで連絡することや中心的メンバーが文書で諒解を得ただけで、みんなが十分納得してくれているという「思い込み」をしてしまうことに注意をしなければなりません。活動が発展し、メンバーが増え、ボランティアの参加も多くなり、組織が整えられる(「官僚制=ビュロクラシー」)なかで、ボランティアな市民活動の良さとのバランスを失っていないかということに注意しなければなりません。メンバーのつながりを大切に工夫がとりわけ重要です。電話やメールで連絡を取り合う際にも、「体調どうですか?」「どう過ごされていますか?」と声かけをするなど丁寧な双方向の「対話」に努めることが大切です。

⑤高齢者の学習要求の基礎には「つながり」を求めることがあります。学習をする空間が居場所になっているのです。集まれない、コミュニケーションがとれないなかで、仲間と一緒に学び、活動することの素晴らしさにあらためて気づいたが、コロナが終息せず、先が見えないことが一層高齢者を不安にしています。

3. サークル活動を継続するための工夫について高齢者の社会参加と社会教育をすすめるうえでの工夫について

①まず、高齢者の社会参加や社会教育活動を妨げている問題が露わになるということは、それをどう解決すべきかということがみんなの共通の問題になるということです。私たちは、それをまさにチャンスとしてとらえたいと思います。

②高齢者の学習の継続を図るためには三密を避ける対策などが必要です。今回の調査でも、「時間の短縮や中止をする、マスクをして歌う。会場の窓を開けて、寒さに耐えながら活動する」(石狩うたう会)、「全体練習が出来ず人数制限(10人位)で、マスクを着用して練習したが、第3波により12月、1月の練習を中止した」(石狩混成合唱団)。「飲食を伴う活動なので密を避ける」(石狩手作りの会)。高齢のメンバーがマスクで息苦しさを感しながら、寒さをこらえながら練習するのはさぞかしたいへんだらうと想像されます。音楽関係のサ

一クルを中心に同様の活動をしているグループから、練習時に感染を防止する方法についての情報を交換し、ともに学ぶ機会を設けると同時に換気装置や消毒薬、飛沫防止の亚克力板の準備などへの行政による支援についても配慮してほしいという希望が出されています。また、とくに音楽関係のグループにはすでにそのような相互支援・協力のネットワークが存在しています。

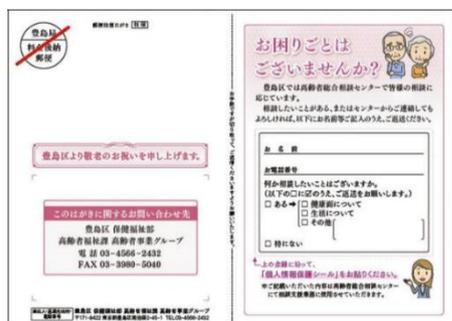
③感染防止を徹底したのは、いしかり市民カレッジです。2020年度は、用意した全28講座のうち7講座を延期、17講座を延期し、バスを使用する講座はすべて中止にしました。9月末に2020年度最初の講座をようやく実施することができました。会議の中でいろいろな意見がありましたが、最終的には、講座をやりましょうということになり、感染を予防するために、できることはすべてやることになり、入室時には、手指の消毒、必ずマスクを着用するよう訴え、密を減らすために、今まで、花川北コミュニティセンターの2階で受付をしていましたが、1階の広いホールで受付をして、スタッフも人員を増やし、受講者へのお願いのペーパーを配り、事前にPRをすることにしました。講師の演台や受け付けには、飛沫防止用ビニールシートを設置し、机は、一人掛けを基本にするなど、対策をできる限りすることにしました。ただ、9月末の講座についても感染拡大の状況に注意しながら、臨機応変の対応ができるようにしました。また、どこまで真剣にコロナ対策に取り組んでいるかを伝えることが受講者に安心してもらえと考え、スタッフが、机が始まる前にふき、終わったあとも消毒することにし、そのかわりスタッフ人員を増やすことにしました。できることはできるだけやっという対応をしたのです。

④メンバーの「つながり」を維持するために電話やメールなど連絡や打ち合わせにいろいろな方法を駆使すること。電話やメールで連絡を取り合う際にも、「体調どうですか?」「どう過ごされていますか?」と声かけをするなど丁寧な「対話」につとめることが大切です。双方向のコミュニケーションを行うために往復はがきを利用する取り組みもあります。

※ 大阪市社会福祉協議会の『コロナの中でもつながる方法』(2020年9月24日更新版)では、「集まらなくてもつながる方法」として、i 電話でつながろう ii 手紙・届けものをつなごう iii オンラインでつながろう iv うちでできることをシェアしようを挙げています(「閉じこもらざるを得ない生活の中では、気持ちが沈んだり、身体機能が低下したりする人が増えることも懸念されます。そのような中、集いの場に参加していた高齢者に向けて、家でできる体操や脳トレを掲載したプリント、毎日の日記をつけられるようなプリントを配付する動きもあります。また、マスクの手作りや寄附に取り組むところもあります」「このように家でできることについて、…対象者が受け取りやすく、取り組む側も過度の負担にならない形でのシェアを考えましょう。周知ツールをつくったり、みんなの声やアイデアを集めるプロセス自体も、コミュニケーションのきっかけになります」と述べられています)。

※ はがきで教えて、高齢者の悩み 豊島区が取り組み - ニーズ把握し適切な支援へ
東京新聞ウェブ 2020年9月28日 06時43分

東京都豊島区では、75歳以上の区民を対象に往復はがきを送り、悩みを書いてもらって返信してもらう取り組みをしています。



⑤オンライン活用も当然考えられるべきです。高齢者が多く、無理だとあきらめて導入をあきらめるサークル・グループも少なくないのです。「オンラインを活用したいが知識が不足して上手く活用できないのです。初心者に対するサポートが十分でない」と考えているサークル・グループがあります。また「インターネットやオンラインの学習会など、中高年向け、高齢者向けなどを行ってくれたら、すごく助かる」と言うグループもあります。また、高校生から高齢者まで幅広い年代のメンバーがいるグループがオンラインを導入することによって、時間や距離の制約から解放されて、世代間の交流が進んだということもあるのです。

※ 高齢者はオンラインに対応できるか

・教育学者のパトリシア・クロスは、高齢者の学習を妨げるバリアを3つ指摘しています。
 i 情況的バリア：個人それぞれの生活事情によって教育活動が制限されること。時間、エネルギー、お金の不足など。ii 性向的バリア：興味がないとか、勉強するには年を取り過ぎていて感じていること。高齢者はこんなことを学んでもしょうがないとか、こんなことに関心をもつはずがないと考えることです。iii 制度的バリア：高齢者のことを考慮せずに、学習機関が学習活動を柔軟さを欠いたやり方で進めてきた結果生じる問題。時間や手続きが不便なこと、施設に行きにくいこと、相談窓口がないことなど（パトリシア・クロス、1979年）。クロスは、高齢者が学習しない「差し障りのない」理由として、「お金がない」とか「時間がない」という「情況的バリア」が上げられることが多いが、より重要なのは「性向的バリア」であると指摘しています。本人が「年寄りだからこんなことを学んでもしょうがない」と考えたり、行政や市民活動のリーダーが「年寄りだから学んでもしょうがないとか、こんなことに関心をもつはずがない」と思い込むことだと言うのです。オンラインの利用については、このような指摘を胸に刻んでおく必要があります。

・高齢者のパソコン利用の実例（現在はタブレット）の事例：徳島県上勝町の半数近くを占

めるお年寄りが活躍できるビジネスを模索、“つまものビジネス”＝“葉っぱビジネス”が1987年にスタート(横石知二『そだ、葉っぱを売ろう』ソフトバンククリエイティブ、2008年)。現在の年商は2億6000万円、200人が参加、1人当130万円、年収1000万円を稼ぐおばあちゃんもいるのです。

・決まった数量を毎日出荷するのでないで、おばあちゃん達はPCを駆使し、全国の市場情報を収集して、自らマーケティングを行い、葉っぱを全国に出荷します。PCでは自分が町で何番目の売上を上げているかの順位等も分かり、こういった取組が刺激になって更なる発展へつながっています(横石さんが農協・町にコンピュータ購入の支援を要請したときは、年寄りにはコンピュータを使いこなせないとなかなか認められなかったのです)。

タブレットを駆使して市況をみながら葉っぱを出荷するか上勝町の女性



⑥オンラインを多用して、打ち合わせや会議をすることは、もともと自発的に集まった仲間と一緒に議論して、納得して活動してきたのに、そういう丁寧なプロセスを経て活動を続けてきたという点を軽視してしまうことになる可能性があることを忘れてはならないのです(先述した「アソシエーションとビュロクラシーの相克」の問題である)。

⑦グループやメンバーの高齢者の近況を調べてみることも「対話」であると考え、丁寧に行うことが大切です。

4. まとめにかえて

①コロナ禍は、今まで私たちの社会が解決できなかった問題をより深刻な形で露呈させました。サークル・団体の活動が今直面している困難も同様であり、皆さんが苦勞している問題もそういう性格をもつものです。だから、ポストコロナのサークル・団体活動もかつてのあり方をそのまま取り戻すということではありません。

②紹介した大阪市社会福祉協議会の『コロナのなかでつながる方法』では、「集まらなくてもつながる方法」を紹介しながら、次のように述べています。「これらの方法は、『活動が再開すればもう関係ない』というものではありません。引き続き、『直接集まることと併用する』『多人数で集まる活動を置き換える』『今後再び感染拡大が起こったためのために』といった発想で取り入れることも考えていきましょう」と述べています。これは、サークル・団体活動の継続に適用できるものです。

③オンラインの導入もまさにそういうものだと思います。私たちはオンラインも活用しながら、必死につながる努力をするなかで、皆で集まって話し合うこと、学び合うことがいかに素晴らしいものであるかを痛感しています。今は「会えなくてもつながる」(それは必ずしもオンラインでなくても方法はあると思われます)ために活用している手段が、これからは「誰ひとり取り残さない」(これはSDGsの課題ともされています)ために活用されるべきです。そのためには誰もがそれを利用できるような技術開発や指導、援助が必要になると思われます。

④サークル・団体の皆さんがコロナ禍であらためて気づいたことは、直接会って話し合ったり、学び合ったりすることがとても素晴らしいものだということであったと思います。移動や集合を「自粛」することは、私たちの「未来の命」を大事にすることですが、感染予防に可能な限り配慮しながら、集まって話し合ったり、学び合ったりすることは、私たちの「今の命」を守る、あるいは輝かせることだと思うのです(こうした「今の命」こそ大事だという考えは、松本光太郎『老いと外出—移動をめぐる心理生態学』〈新曜社、2020年11月〉から示唆を受けたものです。松本氏は以下のように述べているのです。「…外出することはウィルスに感染する可能性がある。だから外出してはいけない。それはおそらく正しい。自分の身の回りの人が命を落とすことは望まない。命は大事である。しかし、1日、2日…1週間…1か月と自宅に留まり、外に出ることを我慢する日々は続く。なぜ屋内に留まっているのだろうか。命のためである。それでは、その命はいつの命なのか。いま生きている時間は命ではないのか。ウィルス感染が終息した後の命のために、今の命を費やし続けるのか。ウィルス感染の抑止に関する社会的合意をいたずらに緩めようと言っているのではない。ここで主張したいのは、ウィルスが私たちを取り囲んでいる限り、屋外に出るときに感染の可能性はなくなるということである。自動車の走る社会である限り、交通事故に遭ってしまうことと同様の可能性である。ワクチンが開発されたとして、誰もが接種できるのはいつのことだろうか。感染の可能性と、屋外に出てあちこちで移動することで出会える対象や実現する行為の価値は、比べることはできないけれども、両者を天秤にかけてその都度判断していくしかないのではないか。『命が大事』というフレーズは正しいが、今生きていることを実感することも大事である」318-319頁)。公民館や社会教育施設で安心して活動できるようにすることにはこのような意味があります。

表 コロナ禍のもとでのサークル団体活動への影響調査 (回答)

	①会員数(60歳以上の割合) ②定例の活動日 ③会場	感染症拡大の影響	会員数、運営資金、会場確保などの問題	・オンラインの活用	①活動について大切にしていること ②活動で工夫していること ③相談相手・窓口 ④他団体に学びたいこと ⑤支援の必要性
石狩うたう会	① 7名(100%) ②第2土曜日 ③花川中央会館	・時間の短縮や中止、マスクをして歌う ・会場の窓を開けて、寒さに耐えながら活動	・会員減少 ・運営資金に困った。	・予定なし	①とにかくみんな元気で。 ②電話、マスクをして訪問 ③公民館社会教育課、リンクル社会福祉協議会など。 ④他団体にマスクをして歌っているのか？合唱はどうしているのかすでに聞いている。 ⑤お金(会場費)。個人から毎月100円徴収していたが、赤字で11月から200円に引き上げた。
すずめの会(健康マージャン)	① 17名(100%) ②毎週木曜日午前 ③石狩市公民館	・「北海道スタイル」を徹底して開催、準備時間がかかるようになった。 ・参加者の一部の方は、参加を控えている。	・会員減少	・予定なし	①感染症予防対策の徹底 ②自作の飛沫防止シートを設置して、健康マージャンをやっている。 ③公民館の薩来様に何かあれば相談している。 ⑤貸室の利用制限などが行われないようお願いしている。
草木染ふきのとう	① 8名(100%) ②金曜日(月3回) ③石狩市公民館	・公民館の閉館中は休み、現在は再開。		・予定なし	①マスクの着用、三密を避け、ドアや窓をあけておく。 ②無理をせず、連絡をとりながら、活動を続けている。

	館				
石狩ケーナ 同好会	① 5名 (100%) ②第4金曜日 ③石狩市公民館	・とくに影響はない		・予定なし	
石狩大谷子 供劇団「碧い海」	①18名(0%) ②水曜日 ③石狩市公民館	・3月の公演を中止した。4月からの活動を休止している。11月より再開予定だったが休止した。	・参加者・会員が減ることがあった。	・ラインによる連絡・打ち合わせをしている。例会や普段の活動に活用する予定はない。	①連絡はこまめに取り合っている。 ②同上 ③社会教育課、文化協会
琴・サークル 琴音	① 7名 (100%) ②第1・第3土曜日 ③石狩市公民館	・文化祭(中止のため)参加ができなかった。発表場所がない。	・なかった	・予定なし	①それぞれの健康状態を重視 ②・文化祭(中止のため)参加ができなかった。発表場所がない。 ③とくにはないが、しいていえば文化協会。 ④何時になったら通常の状況で使用できるか。 ⑤場所の確保が保証されているので(とくに問題はない)。
石狩写真クラブ	① 17名 (100%) ②第2・4土曜日、撮影会は第3土曜日 ③石狩市公民館 撮影会は野外	・道等の行政機関からの外出自粛呼びかけに対応して、例会撮影会をその時々 の拡大状況を見ながら、数度にわたり中	・コロナ以外の理由で、8月以降3名が退会した。	・予定なし	①例会などにおいては、三密防止、手洗い・消毒の励行に努める。状況を見ながら、リスクを感じたら躊躇なく、中止することになっている。・要約すると会員の健康及び安全の確保ということ。 ③相談をしてまで、解決し

		止. このところの感染状況等に対応して、12月及び1月もこれら事業を中止することで決定			なければならないことはない。 ④特にない。 ⑤支援の手までかりたくないが、活動継続のため会員数の確保(25名程度)を図りたいと考えている。
石狩手づくり食品の会	①20名(95%) ②第3土曜日 ③石狩市公民館	・食品を扱う活動のため密を避けることの配慮、飲食をとまなうため	・なかった。	・メールやラインは連絡のため使っているが、それ以外の利用の予定なし。	①安全第一を考えている。食品を扱うため衛生面はとくに注意。②短時間の開催。 ③ない。状況により判断も悩みが伴います。 ⑤活動をするための会場や設備面の部分。
日本棋院石狩支部	① 120名(90%) ②休館日を除く毎日 ③石狩市公民館第2研修室	・会員減・感染予防のための費用の負担増	・参加者・会員の減少はあった。 ・運営資金に困った。 ・会場の確保には困ったことはなかった。	・予定なし	①感染予防 ②特にしていない。 ⑤コロナ終息までの間、会場費の減額
いしかり手打ちそば同好会	①89名(85%) ②第2・4土曜 ③石狩市公民館	・とくに影響はないが、マスク・フェイスシールドの着用のため不便	参加者や会員の減少はあった。 運営資金に困ったことはあった。 会場の確保に困ることはなかった。	・スマホによるラインで役員の打ち合わせ、連絡をしている。	①人との間隔を開けての作業。 ②ラインにより連絡をみつに行う
石狩市郷土研究会	①39名(85%) ②第3木曜日	・3月例会、4月総会、5・	・会場の確保に困るという	・予定なし 高齢の会員が	①会員の安全 ②会報の発行回数増

	③石狩市公民館	6・7月例会、11月以降の例会を中止とした。	ことがあった。	多く、対応できない。	
大正琴サークル 星音	①5名(80%) ②月曜日(月3回) ③石狩市公民館第1研修室	・活動がない日があった	・参加者・会員が減った	・予定なし	①会員の健康と安全と安心、とにかく気持ち的にも身体的にも無理をしないこと。 ②明るい目標を見つけて、一歩ずつ、ゆっくり、明るく、進んでいる感じ。 ③サークル本部や他の大正琴サークルの方
石狩混声合唱団	①30名(80%) ②毎週水曜日 ③石狩市公民館	・全体練習が出来ず人数制限(10人位)で練習したが、第3波により12月、1月の練習を中止した。練習時はマスク着用で行った。	・運営資金に困った。 ・会場の確保に困った。	・予定なし	①練習時に手の消毒、検温、人数制限、マスク着用。 ②全体が集まれないので連絡事項の徹底などに苦労している。 ③常に指導者との連絡を充てに活動方法を検討している。 ④指導者から適切な活動方法を教えてもらっている。 ⑤とくになし
石狩ユネスコ協会	①35名(17%) ②毎月第3木曜日 ③石狩市公民館	・市民、小中学校、児童生徒を対象にした事業なので活動ができない。	・なし	・予定なし	①感染しないように(うつらない、うつさない) ②例会など会合の回数を減らし、電話、メールなどでの連絡を多くしている。 ③石狩市教委社会教育課

マザーリー フ・ゴスペ ル・クワイア	①17名(15%) ②月1回木曜 日 ③石狩市公民 館 視聴覚室	・休会をした	・参加者や会 員が減ってし まうことはあ った。 ・会場の確保 に困ることが あった。	・活用してお り、会員への 連絡やアンケ ートなどに Line や Band を利用。打ち 合わせにはグ ループ通話。 ・例会や普段 の活動でも活 用しており、 Bandによる生 や録画による レッスン配信 (スタジオを 利用)。	①会員間のつながり、モチ ベーションの維持 ②屋外でのレッスンの開催 (雨により中止した)。 ③他地域の同じような活動 をしている団体 ⑤WiFi 環境があるとありが たい。
石狩エンジ ェル・クレア 少年少女合 唱団	①14名、別に 指導者が3名 うち2名は60 歳以上。 ②毎週土曜日 ③石狩市公民 館視聴覚室	・団員が小・ 中・高校生な ので、学校の 休校に合わせて 練習を中止 せざるを得な かった。マス クをつけ、換 気しながらの 練習になった (練習再開 後)。	・会場の確保 に困ることが あった。	・練習の有無 についてのメ ール送信。 ・例会やふだ んの活動に活 用する予定は ない。	①感染を避けながらも練習 できるよう合唱用マスクを 1人ひとりに配布した。 ②2021年3月の定期演奏会 ができると想定し、「音楽 劇」の準備を進めた。

<p>いしかり市 民カレッジ</p>	<p>①会員数 148 名 運営委員 19 名 (90%) ②石狩市公民館、花川北コミュニティセンター ③石狩市公民館で会議室をしていたが、花川北コミュニティセンターでするようになった。</p>	<p>・予定していた 37 講座のうち、21 講座を中止、8 講座を延期した。9 月末に 2020 年度最初の講座を行った。</p>	<p>・受講者数の制限を行い、受講料、カレッジ生年会費、広告料収入の減少があった。 ・使用機材の使用前後の除菌作業、感染対策用品の購入など運営資金が増え、当初予算の見直し、支出抑制を行った。</p>	<p>・開校当初より パソコンメールを利用して いる。 ・例会やふだんの活動でも、報告、連絡等および PC メールによる持ち回り会議等で活用している。</p>	<p>①時に手指の消毒、マスクを着用。受付場所を変更し広いホールで行う。スタッフも人員を増やして、受講者へのお願いのペーパーを配り、事前に PR して密に注意。講師の演台や受け付けには、飛沫防止用ビニールシートを設置機は、一人掛けを基本にするなどできる限りのことを行った。 ②真剣にコロナ対策をやっていることが受講者にわかるようにして不安をなくすようスタッフを増やした。 ③石狩市教委社会教育課 ⑤式典、特別事業等における支援</p>
------------------------	---	--	---	---	---

(回 答)

氏 名 _____

※下記議題について、ご意見等ありましたら、お書きください。

(1) 令和2年度社会教育事業実施報告について(資料1)

(2) 令和3年度主要な社会教育事業の概要(案)について(資料2)

(3) 石狩市のコロナ禍のもとでのサークル・団体活動緊急調査の報告(資料3-1・3-2)